

『盈たして進む IV』



かならず努力の花はさく!!

やはり、盈進小学校には「天気的神様」がいました。「ちょっと暑すぎるんじゃない？」という贅沢な言葉が出るほど、絶好の運動会日和となった6月1日。子ども達は、これまでの練習の成果を存分に出し切ってくれました。

応援合戦。最初の種目で緊張したであろう団長二人が、できる限りの声を張り上げ応援をリードします。どちらかと言えば、他のみんなが練習よりも声は小さかったような…。でも、振り付けがかわいく、息ピッタリの応援を披露してくれた紅団、白団でした。

花笠音頭。私が見てきた4年間で一番動きが揃っていたと自負しております。意識して練習してきた成果は十分に出せたかと。ただ、アンコールの声がかかると、子ども達は必ず「エーッ！」と叫ぶのが恒例だったのですが、それもなく淡々と場所移動。まあ、一生懸命踊ってくれたから何も言いませんが、…ね。

玉入れ。レジェンド相手によやく勝てました。高さのハンデをかなりつけましたが、それでも勝つのは難しいと思っていました。興奮の2連勝。来年は、レジェンド相手にハンデなしでいきましょうかね。



鼓笛隊。楽器や演奏パートが毎年かわるので、伝統でありながらも1年1年で勝負する大きな取組です。毎年レベルが上がっていくことに対応しながら演奏、演技をしていく子ども達は本当にすごいと思います。

綱引き。まず大人。一本勝負では物足りなかったのではないのでしょうか？ 来年は、山下対決を阻止すべく、黒瀬チームが頑張ります。そして、子ども達。これまでの練習では、白組が優勢でした。だからこそ、一本目は赤組が頑張ったと言えます。二本目の白組は力強かったですね。

チャンス走。じゃんけんライオンのことはさておき、1・2年生の魚をのせたペンギン走りのバランスがすごかったですね。ゴム跳び、輪くぐりも見事でした。3・4年生は、ちゃんと声を出して、上手に探せていたでしょうか？ 来年は、ちゃんとけん玉を用意させますね。力任せに跳ね上げる5・6年生。担任から、「とにかく高く蹴り上げて、場を盛り上げてくれ」と頼まれていたとかいないとか…。ただ、それでも上手くキャッチするところも素晴らしい。技術と盛り上げを両立させる、さすがは盈進のリーダーです。

最後の種目は、縦割り班（紅白）対抗リレー。最初に練習した時は、バトンを落とす、違う人に渡す、大回りして抜かれるなど、この先どうなることかと思いました。でも、「必ず努力の花は咲く」です。練習するたびに、バトンタッチも走り方も上手になっていき、チームで作戦を考えるほどになりました。そして、当日の白熱したリレーへとつながります。先生方の思いと子ども達の頑張りが凝縮された最高のリレーだったと思います。

家族や地域の方々の大きな拍手と温かい声援を受け、子ども達は一生懸命に頑張ることができました。ありがとうございました。